

総務部会からの提言書

総務部会では8回に渡り「校名」、「校歌」、「校章」、「記念式典」について協議を重ねてまいりました。その協議結果について以下のとおり統合準備委員会に提言いたします。

《校名》

規模の小さな街である河合町に在る1つの学校として他の町立学校と統一感を持たせ、数十年後も違和感無く当該校が在り続けるために各学校の名称や沿革についても考慮した結果、校名は「河合第二小学校」とすることが望ましいと提言します。

但し、吸収される印象を強く感じるといった意見があり、そのことで子ども達の中に優劣関係を生じさせないように配慮し、子ども達の順応性を上手く引き出していかなければなりません。そのためには先生と子どもとの信頼関係や、保護者、地域との関わり合いなどの学校の意義を再認識し、これまでの両校の独自性を継承した子ども達が輝ける活動の場を残していく必要があると考えます。

《校歌》

学校を象徴して連帯感などを高めるものであり、新たなスタートを切るという観点から「新たに作成する」ことが望ましいと提言します。

また、新しい校歌の作成には、音楽や著作権の専門的な知識を持った方の存在が不可欠であり、その方を軸にした組織を編成して作成方法等について協議していくことを併せて提言します。

なお、現在の校歌に愛着のある高学年の児童への配慮として、卒業式などでは3つの校歌を歌う機会を設けることが必要と考えます。

《校章》

校名を変更する場合は新たに制定する必要があるが、「河合第二小学校」とする場合は「既存のものを使用する」ことを提言します。

なお、いずれの場合においても現在使用しているものは経過措置として使用を認めていくことを併せて提言します。

《記念式典》

統合前には3小は基より2小においても1つの区切りを付け、統合後には新しい文化をみんなで作っていく発想を子ども達に持たすために「両校において閉校式を行い、統合後に開校式を行う」ことを提言します。

式の内容は町が主体となるパートと子ども達が主体となるパートの2部構成が想定されるが今後も総務部会で協議していきます。

平成30年8月21日
河合町学校再編統合準備委員会 総務部会
部会長 村井 亮